

第 3 9 号

2013 年 10 月 25 日



埼玉県合唱連盟

〒330-8557 さいたま市浦和区常盤4-12-13

(朝日新聞さいたま総局内)

TEL 048-824-8161

FAX 048-831-5310

<http://saicl.net/>

SAITAMA CHORAL NEWS パウゼ

# Pause



埼玉県教育委員会教育長  
埼玉県合唱連盟顧問

関根 郁夫

今年度、埼玉県教育委員会教育長に就任いたしました関根郁夫と申します。また、このたびは埼玉県合唱連盟の顧問を仰せつかりました。本県の教育行政に携わる者として、微力ながらも貴連盟に助力させていただきたく所存です。

貴連盟は370余りの団体が加盟する県内有数の芸術文化団体として、組織の点でも演奏水準の上からも全国に誇れる団体であります。日頃から埼玉の合唱文化の向上に尽力されている関係者の皆様に対しまして、深く敬意を表します。

さて、今日の社会は、地域コミュニティーの弱体化等が顕著になる中で、これまでの血縁、地縁、社縁といった絆のほかに、新たな絆を必要とする時代になっています。

そのような中、合唱は、全員が心を一つにして声を合わせ、美しいハーモニーを奏で、一つの大きな作品を作り上げるものであります。合唱の練習をすることで、お互いの気持ちを理解しあうなど豊かな人間関係を築き、新たな絆を作ることにつながっていくものと考えます。

埼玉県教育委員会では、現在、「生きる力と絆の埼玉教育プラン」が計画期間の最終年度を迎えています。このような文化活動の重要性を認識し、「文化芸術の振興」については、引き続き積極的に取り組んでまいります。

埼玉県合唱連盟の皆様には、今後とも一層のお力添えを賜われますようお願い申し上げますとともに、貴連盟の更なる御発展を祈念申し上げます。挨拶といたします。



朝日新聞さいたま総局長

渡辺 雅昭

## 着任のあかし

連盟の集まりや催しにうかがうたびに、びっくりし、心震える場面に出会います。

たとえば4月の総会で、しめくりに出席者の皆さんが連盟の歌を高らかに歌ったとき。「えっ、ふつうに街を歩いている人たちがこんなにすてきなパフォーマンスを」と、あっけにとられたのが最初でした。

たとえば6月の県合唱祭で、観客も一緒になって「少年時代」「ふるさと」を演奏したとき。歌声もさることながら、先だつわずか数分間の練習で、指導者が簡単な注意をあたえ、参加者がそれに応じて表現を修正する。その様子にはただ驚くばかりでした。

そして8月の合唱コンクール・高校部門の審査を待つあいだに練り広げられた恒例のエール交歓。はじける若さ、エネルギー、情熱。なにより、歌うことに寄せる深い思いを、体いっばいに感じさせられたシーンでした。

残念ながら、これまで合唱とは無縁の味気ない生活を送ってきた私にとって、連盟の皆さんの生き生きとした活動は新鮮であり、うらやましいかぎりです。

ことし4月に着任して半年がすぎました。これからもヴォーカルアンサンブルやおかあさんコーラスなどを通じて、仲間とともに音をつくりだす喜び、楽しさを、私たちにも味わわせて下さることを期待しています。

## 第 58 回

# 埼玉県合唱祭

平成25年6月1日(土)・2日(日) 埼玉会館

8日(土)・9日(日) さいたま市文化センター

16日(日) 熊谷文化創造館(さくらめいと)



261団体、6236名のご参加の下、第58回埼玉県合唱祭が今年も盛大に開催されました。

今年は昨年を上回る出場団体数となり、ますます盛り上がりました。しかしそのために各日の総演奏時間が長くなってしまったことが反省点の一つです。次年度に向け、このような事態を改良し、少しでも快適に、より充実した合唱祭となるよう、ただいま検討を重ねております。「合唱祭」の名にふさわしい、充実した楽しい行事となるよう改善を加えていきたいと存じます。是非、来年度の合唱祭にご期待ください。

さて、今年度も昨年度に引き続き、合唱祭初日と最終日に合同演奏が行われました。初日の埼玉会館では、混声合唱で「ハナミズキ」を、そして最終日の熊谷文化創造館では男声合唱で「いざ起て戦人よ」「斎太郎節」を、合唱団の枠を超えて歌い合いました。ステージいっぱい広がるほどの大勢の有志が集まり、リハーサルなしにもかかわらず、ピタッと揃った歌声が会場に響く様子は、歌を愛してやまない仲間同士の絆を感じられる感動的なひとときでした。

そして、各日の演奏を始から終わりまでご講評いただいた郡 愛子先生、池辺晋一郎先生、久邇之宜先生、須藤礼子先生、鈴木憲夫先生の諸先生方には長時間にもかかわらず、心温まるご講評をいただき、各団の今後の練習への力と励みを与えてくださいました。講師の先生方に心より御礼申し上げます。

最後に、係員としてお手伝いをしてくださった各団の方々、そして、理事長はじめ、当日まで手間を惜しまず準備を重ねてこられた合唱連盟の理事諸氏、事務局に感謝申し上げます。また来年、より素晴らしい合唱祭を迎えたいと願っております。どうぞご理解、ご協力の程、心よりお願い申し上げます。  
(常務理事 小島 嘉子)

## 上尾市立上尾小学校合唱団

顧問 永井 基生

「礼儀」「思いやり」「感謝」

上尾市立上尾小学校合唱団では、練習開始と終了時に全員で唱え、この3つを常に心がけて活動しています。

新しい学年になって初めてのステージが、埼玉県合唱祭でした。歌う直前、緊張する子どもたちに、「今できる精一杯の歌を歌おう。歌詞(心)を聴く相手に届けよう。」と話し、ステージへ向かいました。

大きなホールに、胸はドキドキ、足はガクガクの子どもたちでしたが、合唱祭の温かい雰囲気の中、精一杯の歌声を披露することができました。そして、

「心にせまってくる演奏で、涙が出てきました。」

「心から心への音楽を深く感じました。」

「皆さんの想いのあふれた演奏に胸打たれました。」

等の感想を頂きました。温かいお言葉は、子どもたちの励みとなり、その後、より意欲的に練習に取り組むようになりました。

さて、演奏後には普段聴く機会のない中学生や高校生、大人の合唱を聴くことができ、子どもたちにとって、とても良い経験になったようです。

当日出演された方々のように、卒業後も一生涯を通じて、歌や音楽に親しんでいってほしいと願っています。

今回、初めて合唱祭に参加させていただきましたが、たくさんの貴重な体験ができたことを感謝しています。



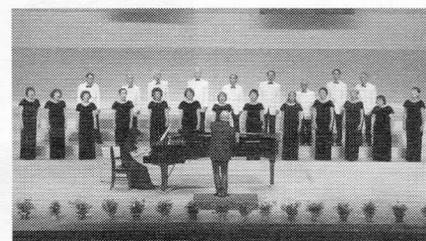
## 混声合唱団 音知

団長 佐藤 良太

はじめまして、混声合唱団「音知」です。私達の合唱団は、さいたま市西区の指扇公民館と西部文化センターを活動の拠点に、創立16年を迎えました。蓮沼先生に指導をお願いして早3年、団員も増えハーモニーにも少しずつですが厚みが出てきたところです。

今回の初参加で感じたことは、参加団体のレベルの高さに圧倒された事です。次回にはレベルアップを図り、「音知」の名に恥じぬように頑張りたいと思います。

練習は毎月第1、2、4木曜日の午後からです。練習の後には飲み会もあってその方のハーモニーはかなりのレベルと自負しております。我が合唱団は平均年齢は少し高いとは思いますが、精神年齢はぴちぴちと若さに満ちており、和気あいあいとした仲間の繋がりを大切にしています。曲のレパートリーを増やしてミニコンサートが出来ればと、団員には内緒ですが私個人は考えております。



## プリムローズ

代表 古谷 清江

今年は〈入間から羽ばたこう〉を目標に、3月の「おかあさんコーラス埼玉県大会」と今回の「合唱祭」に参加いたしました。

コンクールと違い、大きなホールも2回目とあって緊張も無く？遠足気分で早めに到着しましたが、勝手がよく分からず『着替えはどこから降りるの』『何処で待機するの』と少々戸惑いながらも無事着替えて、開演を待ちました。

場慣れた合唱団はさすがに華やかで、衣装もパフォーマンスも勿論合唱も素晴らしく、見習うところがたくさんありました。

特に私達の前の高校生の「キャッツ」は、舞台の袖から見入ってしまい出演者なのに一観客になってしまいました。混声、中高生、男声と、日頃耳にしない合唱団の演奏を聴きとても勉強になりました。

そして最後には郡先生の素晴らしい美空ひばりを聴くことができ涙がでるほど感動いたしました。

『所沢のミューズだと近いのね』『もっと頑張ろうね』『次は何の曲』と前向きな気持ちで帰途につきました。



# SAITAMAコーラスワークショップ2013春

(第28回 埼玉県合唱講習会)

平成25年5月12日(日) 於：和光市民文化センター



今年のワークショップはお二人の先生方においていただきました。お一人は、昨年に引き続き尚美学園大学の竹内秀男先生です。先生には第80回NHK全国学校音楽コンクール中学校の部の課題曲「友～旅立ちの時～」のご指導をしていただきました。舞台上に中学生も先生も上がり、実際の指導を間近で見せていただくことができました。日本語の発音、声の作り方など、生徒にも先生方にもわかるように、丁寧に指導していただきました。次に、中学生を指導していらっしゃる先生方に授業での悩みなどを中心にご指導いただきました。変声期の声の作り方、コンクールに向けて今指導しておくことなど、明日の授業に使えることをお話していただきました。ま

た、先生方が悩んでいらっしゃる事、いまさら誰にも聞けないことなどについても、具体的なお話をしていただきました。

もうお一人は、東京交響楽団指揮者の堀 俊輔先生です。先生には第56回埼玉県合唱コンクールの課題曲のご指導と合唱団の個別のご指導をしていただきました。

合唱の指導はもちろんのこと、指揮者の先生方への指導を細かく丁寧に時間をかけていただきました。講座終了後も会場に残り、堀先生に指導していただいている参加者の方々が見受けられました。熱い思いを持たれた熱心なご指導に、感動いたしました。

(理事 大館 雅子)



## Tact vol.16



指揮者 宮 寺 勇

## ある課題曲の思い出

それはウィーンの楽譜屋にあった。

今から30年ぐらい前のこと。いつものことだが、合唱曲のサンプルを2~3時間かけてチェックしていたところ、書き込みのしてある古い楽譜を見つけた。アーノルド・メンデルスゾーンという作曲家（あの有名なフェリックス・メンデルスゾーンの遠い親戚だそう）の8つの女声合唱曲だった。合唱曲には珍しく、パート譜も一緒だった。

「いつか演奏してみたい。」そんな想いで購入し、それから何年我が家に眠っていただろう。たまたま私が振っている合唱団で演奏するチャンスがやってきた。知合いのドイツ語科の大学教授に訳してもらい、8曲全曲を演奏。とても良いステージになった。

☆

これを機に作曲家について調べてみると、ポーランドの小さな町ラチブシ出身ということがわかった。ラチブシはドイツとの国境に近く、古くはドイツ領だったこともある。というわけで、ドイツ語の曲だったのだ。ドイツの詩人として有名なアイヒェンドルフもこの町出身ということがわかり、是非とも行ってみたいとなった。

☆

☆

それも1年後に実現。女声合唱団を連れて日本の曲とともに演奏し、大成功に終わった。古楽譜の復活!! なんと、地元の人たちもアーノルド・メンデルスゾーンを知らなかったそう。翌年、記念の像が町に建てられたと聞く。

☆

そんな日くのある曲、全日本合唱連盟のコンクール委員会に推薦したところ、8番目の「Immer, wenn der Märzwind weht」を課題曲にとり上げていただいた。

☆

あれから何年になるだろう。全国でこの曲が歌われ、楽しんでいただいたこと。最高の喜びであった。

## 第 24 回

## 関東おとうさんコーラス大会 in いずのくに

7月27日(土)、静岡県伊豆の国市長岡総合会館アクシスかつらぎ大ホールにて、第24回関東おとうさんコーラス大会 in いずのくにが開催されました。猛暑のこの日、蝉の大合唱による歓迎を受けて会場に入ると、出演団体による熱いリハーサルが繰り広げられ、《熱き競演》が容易に想像できました。伊豆の国市の小野登志子市長から歓迎のご挨拶をいただき、全体合唱で「ふじの山」「みかんの花咲く丘」を歌い、いよいよ第1部が開幕です。関東支部から計26団体が参加し、埼玉県からはVive la Compagnie、男声合唱ハゲマス会、男声あんさんぶる「ポパイ」の3団体が参加しました。

各団の個性豊かな熱演が続き、4団体の演奏を残した終盤、前代未聞のハプニングが起こったのです。23番目の伊豆の国混声合唱団サプラ伊豆がステージに上がる途中、天井の中央付近から「シュー」という音と共に霧のようなものが降ってきて、当初は「団名の通り、サプライズな粋な演出だなあ!」と構えていたのですが、次第に小さな雨粒に変わり、最終的には本降りの大粒の雨となったのです。傘をさす人、客席から離れる人が続出し、会場内が一時騒然となりました。スプリンクラーの誤作動とのことでしたが、会場内の《熱気》と空気振動で誤作動したのでしょうか。当然ながら演奏続行はできず、残った4団体の演奏は急遽第2部の会場である多目的ホールに移動し披露されました。静岡県合唱連盟による瞬時の判断が適切で、大きな混乱もなく無事第1部が終了しました。

お待ちかねの第2部(懇親会)では、毎回恒例の〈飲めや歌えや〉の大騒ぎで、歌とアルコールを堪能しました。お土産は、iichiko提供の麦焼酎ミニボトルと伊豆の国混声合唱団女性陣の皆さんの手作りによる「犬のブローチ」を頂戴し、温かなお心遣いが嬉しかったです。絶対に忘れられない希有な経験をし、強く思い出に残る大会となりました。(理事 関根 盛純)



## 第 56 回

## 埼玉県合唱コンクール

2013年 8月24日(土) 高等学校部門

25日(日) 小学校部門・中学校部門(混声・同声)

9月1日(日) 彩の国部門・大学職場一般部門(大学ユース・同声・混声・室内)

於：さいたま市文化センター

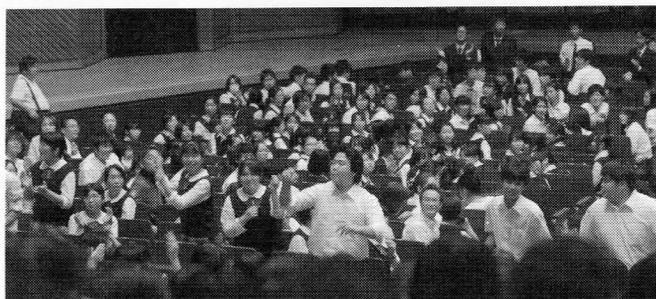
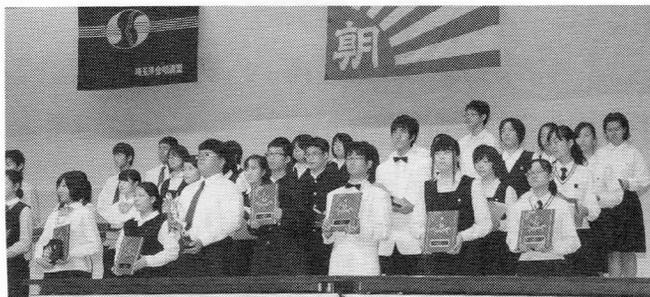
本年度も多くの団体にご参加いただく中、無事コンクールが終わりました。3日間とも熱演が続きました。ご参加いただいた皆様全員が本番に向けて頑張ってくれた結果だと思います。心より拍手を送らせていただきます。

また、大学・職場・一般部門の編成区分が見直されたこともあり、運営側としてはミスがないよう慎重な運営を心がけましたが、皆様のご協力のもと大過なく終了することが出来ました。ありがとうございました。

さて、来年度に向けて皆様にご理解とご協力をいただきたい点がございます。どれもコンクールという性質上、すべての参加団体に万全の状況で演奏していただくためにお願いしたいことです。

1つは、写真・ビデオ撮影禁止の件です。今年も演奏中の写真・ビデオ撮影が見受けられました。

録音も含め、写真やビデオは連盟が許可をいたしました業者をお願いしております。演奏中に万が一フラッシュの光や機材からの音などが出ますと、演奏に影響するだけでなく、審査にも支障が出ますの



で、是非とも各団から関係する方々(特に学校関係などの保護者の皆様)へお話しいただければと思います。

もう1点は、演奏者を除く未就学児童のホールへの立ち入りを禁止させていただいた件です。各団体へは実施要項をお送りする際に入場をお断りする文章をお送りいたしましたでしたが、周知することが出来ずに当日を迎えてしまい、受付でご迷惑をおかけいたしましたことにつきましては、この場をお借りしてお詫び申し上げます。これまでは2階の母子席を利用させていただいておりましたが、遮音が完全ではありません(審査員にお子様の声が聞こえてしまうことがありました)ため、コンクールでは使わないことといたしました。先にも書きましたが、コンクールという性質上、各団体が万全の状況の中で演奏できるようにしていきたいと思っております。ご理解とご協力をお願い申し上げます。

また、来年も多くの団体のご参加をお待ち申し上げます。  
(常務理事 國弘 雅也)

# 第56回 埼玉県合唱コンクール審査結果

平成25年 8月24日(土) 高等学校部門  
 25日(日) 小学校部門・中学校部門 (混声・同声)  
 9月1日(日) 彩の国部門・大学職場一般部門 (大学コース・同声・混声・室内)  
 於:さいたま市文化センター 大ホール

## ★高等学校部門

- 【金賞】伊奈学園総合高校音楽部 (知事賞)、久喜高校音楽部 (教育長賞)、芸術総合高校合唱部 (埼玉県文化団体連合会賞)、  
 星野高校音楽部、県立浦和高校グリークラブ、大宮光陵高校合唱団、熊谷女子高校音楽部、県立川越高校音楽部  
 【銀賞】不動岡高校音楽部、栄東高校コーラス部、小松原高校音楽部、慶應志木高校ワグネル・ソサイエティー男声合唱団、  
 大宮高校音楽部、小松原学園混声合唱団、春日部高校音楽部、熊谷高校音楽部、埼玉栄高校コーラス部  
 【銅賞】春日部女子高校音楽部、所沢北高校音楽部、小川高校音楽部、坂戸西高校音楽部、秩父高校音楽部、さいたま市立  
 浦和南高校音楽部、川越西高校合唱部、大宮開成中学・高校コーラス部、川越女子高校音楽部  
 【優良賞】川口北高校コーラス部 (奨励賞)、上尾南高校音楽部、秩父農工科学高校コーラス部、羽生第一高校コーラス部、浦  
 和学院高校コーラス部、秋草学園高校音楽部、蕨高校音楽部、熊谷西高校合唱部、春日部共栄中学高校合唱部  
 【シード】松伏高校合唱部、松山女子高校音楽部、浦和第一女子高校音楽部

## ★小学校部門

- 【金賞】さいたま市立海老沼小学校合唱部  
 【銀賞】上尾市立上尾小学校合唱団  
 【銅賞】川口市立並木小学校白百合合唱団

## ★中学校部門 (混声合唱の部)

- 【金賞】所沢市立三ヶ島中学校合唱団 (教育長賞)、春日部市立武里中学校合唱団 (埼玉県文化団体連合会賞)、春日部市立  
 豊春中学校混声合唱団、所沢市立南陵中学校合唱団  
 【銀賞】さいたま市立宮原中学校合唱部、小鹿野町立小鹿野中学校音楽部、所沢市立所沢中学校混声合唱団、所沢市立上山  
 口中学校合唱部、行田市立南河原中学校合唱部  
 【銅賞】松伏町立松伏中学校3年有志合唱団、川越市立大東西中学校合唱団、加須市立加須西中学校合唱団、蓮田市立蓮田  
 中学校合唱団、久喜市立栗橋西中学校有志合唱団  
 【優良賞】行田市立見沼中学校合唱部 (奨励賞)、所沢市立安松中学校混声合唱団、ふじみ野市立葦原中学校 ムジーク クライ  
 ス、上尾市立太平中学校有志合唱団、日高市立高根中学校有志合唱団

## ★中学校部門 (同声合唱の部)

- 【金賞】所沢市立狭山ヶ丘中学校合唱部 (知事賞)、春日部市立春日部中学校合唱部 (教育長賞)、栄東中学校コーラス部 (埼  
 玉県文化団体連合会賞)、ふじみ野市立大井中学校音楽部、所沢市立向陽中学校コーラス部  
 【銀賞】秩父市立秩父第一中学校コーラス部、秩父市立秩父第二中学校合唱部、伊奈町立小針中学校合唱部、さいたま市立  
 城南中学校合唱部、熊谷市立富士見中学校音楽部、川口市立青木中学校コーラス部  
 【銅賞】久喜市立久喜中学校合唱部、加須市立昭和中学校音楽部、川口市立西中学校音楽部、熊谷市立大原中学校合唱部  
 【優良賞】蕨市立第一中学校音楽部 (奨励賞)、深谷市立上柴中学校音楽部、熊谷市立熊谷東中学校合唱部、宮代町立須賀中  
 学校合唱部、秩父市立影森中学校コーラス部  
 ※さいたま市立宮前中学校合唱部は都合により棄権

## ★彩の国部門

- 【金賞】所沢フィニッシュ少年少女合唱団 (理事長賞)、ファミリー・ひろ女声合唱団 (彩の国特別賞)、コール・フリージア  
 (彩の国特別賞)、川越高校音楽部 OB 合唱団 昆布、アンダンテ・ルツィカーレ、混声合唱団 獅子  
 【銀賞】ちちぶ女声合唱団クラングファルベ、大妻嵐山中学校・高校コーラス部、川口市立川口総合高校音楽部、アンサン  
 ブル・ソアーヴェ、Wings Jr.、ancora!  
 【銅賞】大宮コール・ヴァイオレット、鳩ヶ谷高校合唱同好会、合唱団 久遠、春日部ジュニアコーラス、やまとなでしこ、  
 久喜北陽高校コーラス部、川口市立県陽高校音楽部  
 【優良賞】寄居城北高校コーラス部、開智未来中学高校コーラス部、滑川総合高校 Chorus Society、浦和実業学園高校合唱部、  
 日々輝学園高校合唱部

## ★大学職場一般部門 (大学コース合唱の部)

- 【金賞】MI混声合唱団・西武学園文理高校合唱部 (埼玉県文化団体連合会賞)、合唱団 amore  
 【銀賞】彩の国コンソーシアム合唱団 KIRARA ☆ Mixed、Paradise Relax  
 【銅賞】加須 J、文教大学合唱団コール・リンデ  
 【優良賞】跡見学園女子大学合唱団

## ★大学職場一般部門 (同声合唱の部)

- 【金賞】La Mer  
 【銀賞】女声合唱団 悠 はるか  
 【銅賞】Raison detre

## ★大学職場一般部門 (混声合唱の部)

- 【金賞】浦和混声合唱団 (教育長賞)、混声合唱団 川越牧声会

## ★大学職場一般部門 (室内合唱の部)

- 【金賞】scatola di voce (知事賞)、合唱団「あべ犬東」、クール・ヴァン・ベール、Il Campanile  
 【銀賞】voces kunel、女声合唱団 きらり、Wings、コール・ドルチェ  
 【銅賞】Chor Kraut、コール・マーガレット、Canto di Alauda  
 【優良賞】T-Croce (奨励賞)、浦和ブルーコーラス、M ☆ Girls

# 第37回全日本おかあさんコーラス埼玉県大会

## 関東支部大会への推薦方法について

春の総会で報告しましたように、今年度から関東支部大会への推薦方法が変わります。昨年度までは関東支部内の他の8県と埼玉県の推薦方法が異なっていたので、おかあさん団体にアンケートをお願いして各団のご意見を伺いました。多数の団体からお返事を伺いまとめたところ、今まで通りが良いとする団体、選考を取り入れるべきとする団体が相半ばしていました。そこで皆さんのご意見を報告した上で再度アンケートをとりました。

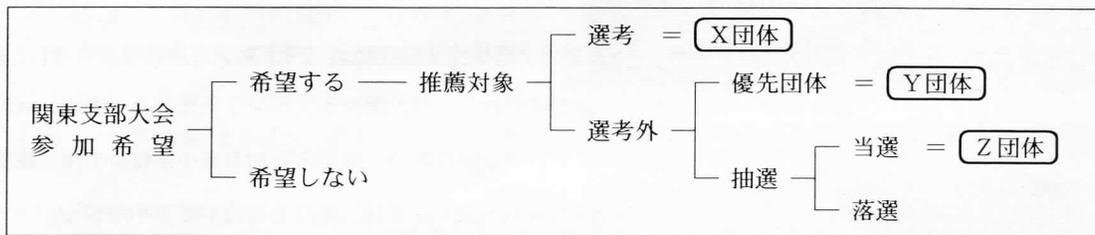
2回のアンケートをまとめ、理事会で論議の上出した結論が総会での報告となりました。具体的には以下の通りです。

平成25年度 おかあさんコーラス関東支部大会推薦方法の基本方針

- 1 選考による方法と抽選（優先団体(※)を含む）による方法を併用
- 2 抽選は希望団体すべてが参加できる（埼玉県大会の結果によらない）
- 3 抽選は県大会で行う
- 4 この方法は暫定的なものとし、25年度の県大会を実施した上で、参加団体の希望を尊重しながらも運営面での矛盾や困難さを解消できるものに改訂していく。

※優先団体とは3年連続で抽選に外れた場合、希望すれば翌年無条件で推薦される団体

本年度の推薦団体の決定方法 推薦団体（X・Y・Z）の決定は次の方法で行う



- 選考および抽選は県大会最終日の演奏後に行う。
- はじめに選考結果を発表(X)。その後選考にもれた希望団体のうち、優先団体を発表(Y)（優先団体が選考された場合、その分抽選で選出される団体数(Z)が増す)。  
つづいて選考団体(X)、優先団体(Y)を除き抽選を行い当選した団体を発表(Z)。
- 全ての推薦団体が決定後、関東支部大会の出演順の抽選を行う。

詳細については平成26年2月1日(土)の打ち合わせ会の際にご説明いたします。

優先団体の扱いについては今後さらに検討を加える必要があります。具体的には選考による団体と優先団体で推薦枠の数に達してしまう可能性が出てくると考えられるからです。

来年度以降の優先団体のあり方や抽選方法については、打ち合わせ会等で皆さんのご意見を伺いながらより良い方向に変えていこうと考えています。  
(事務局長 宮野 善也)

## 第 36 回

# 全日本おかあさんコーラス関東支部大会

2013年7月6日(土)・7日(日) 於：茨城県／茨城県立県民文化センター

## 【 選考結果 】

### 第1日目

- |            |     |
|------------|-----|
| ソット・ヴォーチェ  | 優秀賞 |
| 女声合唱団 水脈   | 優良賞 |
| プチトマト      | 大会賞 |
| コーラル・デイジー  | 優良賞 |
| コーロ・プリランテ  | 大会賞 |
| コーラル・クローバー | 優秀賞 |

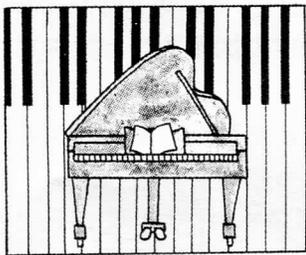
### 第2日目

- |                  |     |
|------------------|-----|
| コール合歓            | 大会賞 |
| コーラスせきれい         | 大会賞 |
| 女声合唱団 浦和リーダークライス | 大会賞 |
| ピアチェーレ           | 大会賞 |
| 春日部女声コーラス清秀      | 優秀賞 |
| コール・ローズ          | 大会賞 |
| Ciel Clair       | 大会賞 |

### ソット・ヴォーチェ

代表 越 知 和 子

奇しくも梅雨明けとなった7月6日、茨城県立県民文化センターにて私達「ソット」にとっては2回目の関東大会に臨みました。ホールの響きが余り良くないとの事で、指揮者の滝沢先生より「いつもの二割増しの音量で歌うように」というご指示をいただき、仲間の歌声が十分に聞こえて来ないステージで、滝沢先生の指揮と矢内先生のピアノの音を頼りに一人一人が歌い上げました。週2回の練習量と団員の歌心が合致して、結果、優秀賞に値すると認めていただき、最高の夏の始まりの日になりました。



### コーラル・クローバー

代表 加 藤 香 奈 江

「はっ？」  
 コーラル・クローバーが優秀賞を獲った瞬間だった。  
 「やった!!」  
 客席の仲間も皆喜んでいた。  
 「わーい！」  
 表彰式では小さく皆に手を振った。  
 「う・う…」  
 今までの練習がよみがえり、ちょっぴり涙が…。  
 「乾杯!! 乾杯」  
 帰りのバスでの宴はノンアルコール・ビールで  
 「ア・ハ・ハ・ハ…」  
 皆の顔が笑顔でくしゃくしゃだった。

大岩先生、関根先生、ありがとうございました。



### 春日部女声コーラス 清秀

代表 斉 藤 洋 子

こんにちは。春日部女声コーラス清秀です。おかあさんコーラス関東大会へは昨年、今年と連続で抽選に当たり出演させていただきました。(何という幸運!)そして今年・・・、茨城県立県民文化センターにての本番、緊張する舞台袖にて(この曲に出会った時から言われていたのですが)改めて先生からの一言“みずすの愛情豊かな優しさに満ちた心、そして薄幸な運命から生まれた強い心を胸に抱いて表現しよう”と言われ、言葉ひとつひとつ大切に唄わせていただきました。

結果として「優秀賞」という大きな賞を戴くことができ、団員一同驚きと喜びでいっぱいです。10月には演奏会を控えていますので、この体験は大きな励みになりました。これからも気持ち新たに一歩ずつ進んでいきたいと思っております。有り難うございました。



ソット・ヴォーチェ



春日部女声コーラス 清秀



コーラル・クローバー

撮影：(株)フォトライフ

# 彩の国男声コーラスフェスティバル2013

2013年10月5日(土) 於：秩父ミュージックパーク音楽堂・野外ステージ

## 雨の秩父に男たちの歌声響く

10月5日(土)、秩父ミュージックパークにおいて、「彩の国男声コーラスフェスティバル2013」が秩父市の共催、矢尾百貨店、アサヒビールの協賛を頂き開催されました。

当日は残念ながら一日中雨が降り続く悪天候でしたが、第一部の参加団体が16団体、合計226名。第二部も230名のご参加をいただき無事終了することができました。本当にありがとうございました。

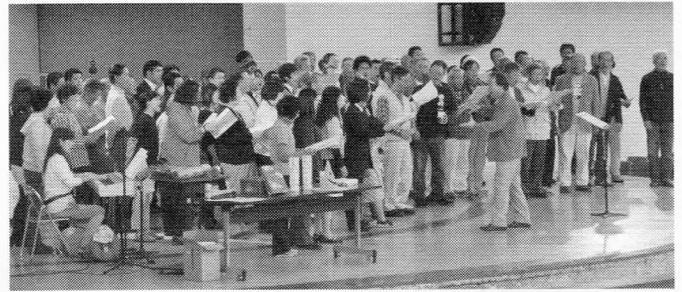
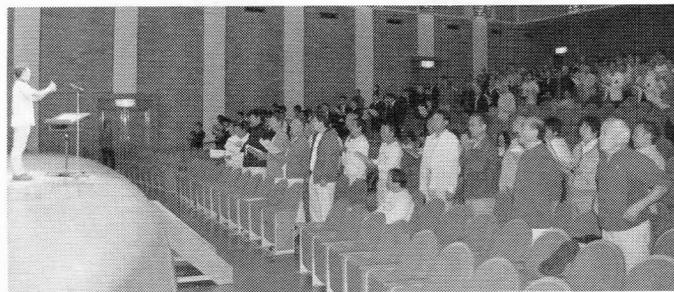
第一部では素敵な響きのホールでのコンサート。見事な演奏あり、個性にあふれた演奏あり、スリル満点の演奏あり、またまた華やかな応援団あり、どの団体も楽しく素敵な演奏の連続でした。さらに女声合唱団コールドルチェの参加もいただき盛り上げて頂きました。

ちなみに、当日のコンクール?というか、人気投票。審査員は会場においでいただいた女性の皆様。そのハートをゲットした幸運の男声合唱団は、益楽男グリークラブでした。益楽男グリークラブは人気投票第1位ということだけではなく、その後も沢山盛り上げて頂きました。感謝!

第二部は野外ステージでの懇親会。かの中国の英雄、曹操の言葉に、「酒に向かえば、まさに歌わん。人生いくばくぞ。」という言葉があります。まさしくその通り、雨ではありましたが、呑めや歌えの大盛り上がり。いい酒、いい歌、いい仲間。男声合唱は、迫力と力強さ、そして、適度なゆるさ。とても結構な時間でした。第二部の企画・司会進行のお手伝いをいただきました男声合唱団コール・グランツの加藤さんと男声アンサンブル「ポパイ」の星野さん、ありがとうございました。

埼玉から発信したおとうさんコーラス大会が関東にまで広がり定着してきたことを契機に始まった彩の国男声コーラスフェスティバル。日本一の男声合唱王国を自負する埼玉としてはさらに先を目指し、より充実した新しい企画で皆様の期待にお応えしたいと考えております。皆様のご意見ご希望をお待ちしております。

(常務理事 蓮沼 喜文)



人気投票1位! 益楽男グリークラブ

地元秩父市より参加 秩父の男衆

25周年

男声合唱団 コール・グランツ

団員 加藤 良一

四半世紀歌っています…



1988年11月、現連盟顧問・鎌田弘子先生のもと30名以上が集まって発足。いつの世も同じ、男声陣を集めるのは並大抵ではありませんでした。その後、急速に拡大したのは鎌田弘子先生の類いまれなる人集め術があったればこそ。徐々に…というより対数曲線状に団員が増えていき、一時は50人にもなろうかという活況を呈しました。発足当時は、男声合唱団というよりは、混声合唱団の男性たちの様相でしたが、2000年に第1回のコンサートを開催し男声合唱団として活動を新たにしました。2003年にはイル・カンパニーレ、あんさんぶるポパイ、ドン・キホーテ、メンネルA.E.C.、グランツの5団体が結集した男声合唱プロジェクトYARO会第1回ジョイントコンサートを開き、翌04年には指揮者が笠井利昭先生に交代するなど新しい時代に入りました。YARO会を通じて作曲家多田武彦先生との交流も深まり、男声版「秩父音頭」をプレゼントされるという嬉しい出来事もありました。YARO会はこれまでに3回のジョイントコンサートを開き、多田武彦合唱講習会、コンクールや各種イベントへの参加など幅広く活動を続けており、グランツとは切っても切れない関係です。グランツの活動状況などはホームページで紹介しています。ご覧下さい。

## ＊＊＊それぞれの周年記念＊＊＊



20周年

ドン・キホーテ男声合唱団

団長 渋谷 弘

「楽しい男声合唱」を  
目指して…

平成4年12月に、当時はバリバリの現役青年(?)だった歌好きの仲間が集まって、ドン・キホーテのように夢に向かっての楽しい旅に出発したのです。当時の仲間は現在2名ほどになってしまいましたが、創立当時の「エースも4番バッターもいない」「楽しい男声合唱を」精神は今も脈々と受け継がれて、20数名のメンバーで毎週土曜日の練習に汗をかいています。

この20年間、いろいろなことがあったようです。一時は団の存亡にもかかわる大きな試練に遭遇した時もあったと聞いております。しかしオジサンパワーはそれらの試練を乗り越え、歌うことの厳しさ、楽しさ、ハモリの気持ち良さを少しずつ感じてまいりました。メンバーの多種多様の人生経験、幅広い年齢層、指揮者河田先生の人情味あふれるご指導によって、ドンキ独特の声音が作り出されているようです。

9月23日(祝日)には20周年記念演奏会を大盛況のうちに開催いたしました。これからも県合唱祭や志木市のサマーコンサート、男声合唱フェスティバル、施設慰問など「楽しい男声合唱」を目指して、出来る限りの活動を続けてまいりたいと思います。

# ♪ 私たちの場所

# Stage

## 混声合唱団 ノイエ

団長 新井 眞一

2004年2月に結成した混声合唱団で、練習は毎週土曜日の午後7時から桶川市民ホールの練習室で行っています。昨年1月から長年星野高校音楽部を指導された廣重雅己先生を指揮者にお迎えし、これまで以上に発声方法や腹式呼吸法を重視した練習に取り組んでいます。

団員数は32名（男性14名、女性18名）で、毎年埼玉県合唱祭と桶川市合唱フェスタに参加するほか、2年に1回、桶川市民ホールで演奏会を開催しています。本年9月1日には第5回演奏会を開催し、組曲「水のいのち」や「歌おうNIPPONプロジェクト」のポピュラーソングを演奏しました。

✦  
ますらお

## 益楽男グリークラブ

広報・ベースパートリーダー 川浪 龍

私たちは平成23年11月結成の「日本を男声合唱で益々楽しく！」を合言葉に、指揮者の平田由布を中心として、歌い、飲み、飲みながらまた歌うという「古くて新しい」男声合唱団です。団員構成は10～40代ぐらいまで、高校大学の男声合唱経験者が多いですが、未経験者も女性団員も交えて日々熱く楽しく泥臭く汗臭く活動中です。今年3月の「おかあさんコーラス埼玉県大会」では招待演奏として1ステージを務め、好評をいただきましたが、平成26年2月9日(日)に初めての単独演奏会を開催します。会場は春日部高校音楽ホール（東武野田線八木崎駅）入場無料。団員随時募集中！詳細は『益楽男』でHPを検索ください。演奏動画も公開しています！

✦

## 混声合唱団 川越牧声会

会長 高岡 秀明

川越牧声会は創立60周年となる「小江戸」川越を本拠地として活動する混声合唱団です。1953年当時の県立川越高校音楽部顧問 牧野統先生を中心に発足し、現在は10代から60代の幅広い年齢層のメンバーで構成され、大学生、OL、主婦、教員、サラリーマンといったバラエティーに富んだ面々が県内各地から集い、週末の川越市内で練習をしています。

2007年からは國弘雅也先生より指導をいただいています。歴代指揮者の先生方や諸先輩方により培われた牧声会の伝統と人の輪を、これからも大切に引き継いでいきたいと考えています。

団員随時募集中、見学者も大歓迎です。お問い合わせは川越牧声会ホームページ [http://www.geocities.jp/k\\_bokuseikai/](http://www.geocities.jp/k_bokuseikai/) まで

✦

## 熊谷市立大原中学校合唱部

顧問 滝口小百合

「聴いている人に一瞬の煌めきを！心に残る感動を！！」をスローガンに掲げて日々の練習に取り組んでいる私達。夏と冬にあるコンクールで上位入賞を目指すことも活動目標の一つですが、何より大切にしていることは、音楽を通して様々な人達と感動を分かち合い、感性を磨き、感謝の心を持ち続けることです。

年間約10回の交流コンサートを保育園や小学校、高齢者施設で行わせていただいている私達は、様々な年代やあらゆるジャンルの曲を歌いこなしています。また手遊び歌を取り入れたりミュージカルの一場面を演じたり、司会も工夫して、相手の方が心から楽しめるようなコンサート作りに努めています。来年度の合唱祭も楽しみにして下さい。

✦

## 編集後記

ワークショップ、合唱祭、コンクール、男声コーラスフェスティバルと大盛況で終えることができました。これもひとえに加盟団体皆様のご協力あってこそと、心より感謝申し上げます。今後もより充実した合唱連盟の運営に努めて参りたいと思います。

(常務理事 石山 明)

## 願いを建てよう。

たとえば気持ちのいい眺めが得られる技術。

思いが広がる。自由が広がる。ポラスの注文住宅。

ポラスの注文住宅 検索

住まいの総合情報企業  
POLUS  
1974年設立